



2022年度 園経営者・園長向けオンライン研修 ～来期を見据えて自園の方策を考えるための実践ガイド～

コロナ禍の変化を園の経営改革に活かす時

想定外を想像する力を持つ管理職や保育体制の構築は、今後の厳しい園経営を考える時、絶対に必要な能力であるといえます。たださえ少子化が予測以上に急速に進行する中、かけがえのない命をどのように安全管理するのか対策の見直しが急務です。全国各地で顕在化している“0歳児も1歳児も集まらない中途入園の予定もない”という状況だからこそ選ばれる園を目指します。

第1回 9月7日（水）13:30～16:00

不適切な保育・想定外の事故を避けるための人材の管理体制を考える！

I	コロナ禍が与えた保育体制への影響と人材の心身への影響 ノンストップの運営3年目、保育者の視点や保育実践の連携が図り切れない
II	働き方改革が与えた影響、“質の向上” vs “就労時間数” 人材不足シフト、話し合い不足で情報共有ができていない落とし穴とは？
III	少子化時代2021年“出生数81万人”“出生率1.3人”の影響 保護者や地域社会に対し園は何を準備し事態にどう向き合えば良いのか？

- ① 保育現場における不適切な行為事例と対処
- ② 内閣府の事故報告集計から見えてくる現実
- ③ 自園の不確実性を考慮した人材の危機管理
- ④ 表に出てきたときでは遅いので、定期的に
第三者の目を入れる考え方、事例紹介
- ⑤ 園児の命を守る、人材を守る、経営を守る

第2回 10月4日（火）13:30～16:00

選ばれている園は既に実践している！園児と保護者、職員の多様性の尊重

I	障害等を持つ子どもとケアする職員が安心して過ごせる保育環境とは 個性や個人差、特性を見極める力の育成・生きる力の基礎を育める環境提案力の強化
II	医療的ケア児や支援を要する子どもの保護者への寄り添いと関わり方 保護者の気持ちに寄り添える力の育成、子育ての見通しを提案できる関係の構築へ
III	園児の個性・個人差の把握と情報共有、小学校へ接続させたい重要事項 保護者や小学校が園に寄せる課題と要求、受ける期待を超え選ばれる園になるために

- ① 安全で適切な保育環境の考え方
- ② 加配保育士や補助職員の在り方
- ③ 子どもの命の管理が実践できる
人と時と事のマネジメント方法
- ④ 世代を超えた園の思考基準改革
- ⑤ 保護者の小学校接続を支援する

講師 齋木里奈（Rina Saiki）株式会社こども保育環境研究所 保育事業部 本部長

参加費

- 参加費：各回ともに1園様につき8,800円（税込）
 - ・1ヶ園ごとのお申込みとなります。
 - ・お申込受付の後、ご請求書を発行致します。期日までに指定口座へお振込みください。
 - ・不参加となった場合でも、参加費のご返金は致し兼ねます。予めご了承ください。

受講方法

- 研修スタイル：オンライン ZOOMミーティング
- 受講のご案内：研修実施2日前までにご登録メールアドレスに、ZOOM招待URL、ミーティングID、パスワード、レジュメデータを当社専用メール online@kodomoken.co.jp より送信を致します。

お申込みは、当ホームページ 一般募集研修案内の「お申し込みフォーム」
又は、以下のお申込み用紙にてFAX:04-2969-1551へご送信ください。

法人名ふりがな	園名ふりがな	担当者名ふりがな
参加希望日に☑ください ☐ 第1回 9月7日（水） ☐ 第2回 10月4日（火）		EMAIL（受講用の登録メールアドレス）
住所〒		TEL
		FAX



株式会社こども保育環境研究所

〒350-1320 埼玉県狭山市広瀬東1-16-34 TEL04-2969-1550 担当：醍醐（だいご）
<https://www.kodomoken.co.jp/>